



みんな友達  
地球はひとつ

## 国際交流フェスタ 2008

とき 10月19日(日) 11:00~15:00

ところ 市役所 1階

● 実行委員長 東原 聖二

昨年の国際交流ガーデンパーティは雨で散々な目に  
あいました。そこで、今回は市役所1階ホールを会場  
に選んだのですが市役所特有の制約が色々出て来ま  
した。1つは、有料行事はご法度、つまり入場料はと  
れないし、物品販売は出来ないということ、2つめは  
火気使用不可、つまり料理が作れないということ、3  
つめは、収税課と市民課が日曜日といえども普段通り勤  
務するということ。

こういう制約の中で、いかに入場者に満足していただ  
ける行事が出来るかがフェスタ実行委員全員の頭をいた  
めたところでありました。

しかし、皆の苦勞が実ったのでしょうか、入場者数は  
300名強と予想を上回る数になりましたし、不満苦  
情もほとんどなく、「つまらなかった」という声はひと  
ことも聞こえてこなかった処を見ると、まあまあうまく  
いった、フェスタの評価としては「良」をもらえたの

ではないかと思っています。

今回の特長は、若者の行事が多かったことがあげら  
れます。小学生の英語歌唱をはじめとして、少年剣士  
による木刀剣技の披露、中学生の英語スピーチ発表、  
さらに東京理科大学生の阿波おどりと、これら明日を  
担う若者たちが国際交流という場で大勢参加してくれ  
たことは、今まで以上に交流の輪が広がりをもせたの  
と同時に、これからの活動に大きな望みをいだかせて  
くれたのではないのでしょうか。

会員の皆さんの協力はもちろんのこと、収税課・市民  
課には多大な迷惑をおかけしたこと、「つくしんぼう」  
さんには喫茶室を開放し使わせていただいたこと、協  
賛企業の各社から物品を提供してもらったこと、行事  
には大勢の方々に出演していただいたこと等々誠にあ  
りがとうございました。皆様方に深く感謝申し上げます。  
今後とも、国際交流の発展にご尽力いただければ  
幸に存じます。

## ★ 小中学生の英語スピーチ ★ 外国人の日本語スピーチ

### ● 下川 明男 (スピーチを担当)

日本人の小中学生によるスピーチは今回が初めての試みで、まず生徒が集まるかどうか、もし集まってもどのような発表になるか等色々心配はありましたが、最終的に小学生が9名と中学生が3名参加して頂き、英語のスピーチや歌で盛り上げて頂いたことに感謝します。

一方外国人による日本語スピーチでは4カ国5名の参加がありましたが、在日が短い人については若干心配をしていました。でも視聴者が発表者全員の話真剣に聞いてくれる姿を目にし又拍手の大きさから推察すると、きっと満足して頂いたのではないかと思います。

### ● 山田 史里 (ミャンマー出身 日本語教室学習者、スピーチを披露)

私は「私の少数民族」のスピーチをしました。友達も同じスピーチをしたので緊張も少し解けました。

反省点は民族衣装を知り合いに貸したので着られなかったことです。そしてスピーチは原稿を見ないで話した方がいいと思いましたが、しかし私はずっと原稿を見て読んでしまいました。なぜならば来場者の顔を見るのが怖かったからです。

こう言うスピーチ大会があるのはとても素晴らしいです。チャンスがあればもう一度やりたいと思います。どうも有難う御座いました。

## ★ 着物の体験コーナー

### ● イストラテ サンドラ (ルーマニア出身、ルーマニア展示コーナーの主役、もと日本語教室学習者)

着物についてたくさんすばらしいことが言われています。でも私はいろいろ読みましたけど外国人ですから着物の着方があまり分かりませんでした。残念だともおもいました。

私は三年前日本にもう一回いて、その時に初めて酒井先生から着物の着方について大切な説明をもらいました。ですから先週 Noda International Association のフェスタに行った時に酒井先生が二回め詳しい説明をしてくれてすごくよかったです。その日とても幸せになったと思います。ですから心から「どうもありがとうございました」と言いたいです。これからもよろしくお願ひいたします。



## ★ 外国民族衣装コーナー

### ● 岩沢 律子 (外国民族衣装体験コーナーを担当)

中国、韓国、ベトナム、タイの4カ国、約14種類の衣装をたくさんの方が着て記念撮影を楽しんでくださいました。

韓流ブームも少し落ち着いてきたようですが、今回の4カ国の中で一番人気なのはやはり韓国のチマチョゴリでした。

ドラマを通じて韓国の生活や文化などを知り、チマチョゴリを着てみたいと思う方が多かったです。

NIAの活動を通じて色々な国の文化や国民性を知り韓国と同じくらいに他の国にも興味を持っていただけたらいいなと思いました。



## ★ 各国の展示コーナー

● 草川 しのぶ (ブラジル展示コーナーをアシスト)  
 韓国、中国、ブラジル、アルゼンチン、フィリピン、タイ、ルーマニアの7カ国の紹介としてそれぞれの国の国旗をはじめ、パンフレット、民芸品、民族衣装などを展示させて頂き、その中で私はブラジルのコーナーを担当させて頂きました。  
 本場ブラジルコーヒーの試飲はとても好評で、列を連ねるほどでした。また、ブラジル人でありながら演歌歌手になられたアンゼリカさん(日本語教室の学習者)の歌声に心を打たれました。  
 見に来てくださった皆様に「Obrigado」!

● 吉岡 廣明 (中国展示コーナーをアシスト)  
 初参加の国際フェスタでしたが、様々な催し物、大勢の来場者があり、盛会という印象でした。  
 各国の紹介展示コーナーはそれぞれ工夫が凝らされ、多くの方達の興味をそそいでいました。  
 中国コーナーでは、大使館からの借用という天安門、北京オリンピックの鳥の巣競技場などの立派なパネル写真を展示したり、中国語のクイズをして、参加者には厄除けになるという兵馬俑の人形を配るなどで盛り上げ、さらに「篆刻」の体験コーナーを設け、それぞれの作品を見事な実演で仕上げるなど、友好の為だという中国の人達の凄まじいパワーを感じました。



## ★ 喫茶コーナー

● 小川 好江 (喫茶コーナーを担当)  
 国際交流協会年間事業の大きなイベントになります「国際フェスタ 2008」が今年も多くの人々を迎えて盛大に開催されました。  
 雨天を考え、市役所エントランスホール、喫茶つくしんぼうを関係者のご協力でお借りすることができました。担当として軽食コーナーを4名の会員と引き受け、各国の飲み物、お菓子類と情報を集めながらの買い出しが大変ながらもとても勉強になりました。喫茶つくしんぼうのカウンターには、韓国、メキシコ、中国、フィリピン、タイの5カ国の飲み物、テーブルには各国の国旗、お菓子が並べられ、訪れた人々はそれぞれに国際交流を楽しんでいました。



## ★ アトラクション

### ● 松村 芳郎 (アトラクションを担当)

今回、従来の外国人による歌舞の発表に加え、なるべく多くの市民が参加できる形を企画しました。これは、野田市剣道連盟のご協力で沢山の子供達による元気な型の披露、タイの踊り教室で練習中の、小さなお子さんを含んだみなさんの成果発表と、韓国語講座受講生にマンドリンでの伴奏を含む、韓国語での合唱、市内唯一の大学である東京理科大学阿波踊りサークルの参加等で実現しました。外国人の歌舞は、年々そのレベルが上がり、プロ並みの実力に皆さん驚きの声を上げておられましたね！楽しんで頂けた事と存じます。如何でしたか？

### ● 梯 綾音 (東京理科大学 阿波踊りサークル)

今回、野田市国際交流協会のイベントに大好きな阿波踊りで参加した上、韓国のチマチョゴリや中国のチャイナドレスを着させていただきました。普段、身近では目にもすることもないような服に袖を通させてもらって、とてもわくわくしました。また機会があれば参加して、各国の皆さんと交流したり、色々な民族衣装を体験したりしてみたいです。



### ● 西村 テルマ (フィリピン出身、歌やヒップホップダンスに大活躍)

フェスタでは、歌と踊りを披露しました。オールマイティーズのバンドと歌ったり、フィリピンの仲間と踊りました。とても楽しくて、友達もふえてうれしかったです。

また来年のフェスタでも、同じ仲間と新しい踊りに挑戦したいと思います。



### ● 宮内 ラウイーワン (タイ出身、日本語のスピーチ発表とタイ踊りを披露)

わたしは、ドキドキしながら日本語でタイについてスピーチしたあと、タイ踊りを踊りました。うまくできました。こんどで三回目です。いろいろな国を勉強できるし、じぶんの国も紹介できてうれしかったです。



野田市国際交流協会

〒278-8550 野田市鶴巻 7-1 (野田市役所 企画調整課内)

Tel.04-7123-1065 Fax.04-7122-1557 <http://www.nianoda.com>